

対策必須！

改正個人情報保護法対応のための IT環境の見直しについて

-ISM CloudOneご紹介-



本日セミナー概要

**2020年12月12日時点でペナルティーが強化されたことにより、
罰金・罰則のルールが厳しくなりました。**

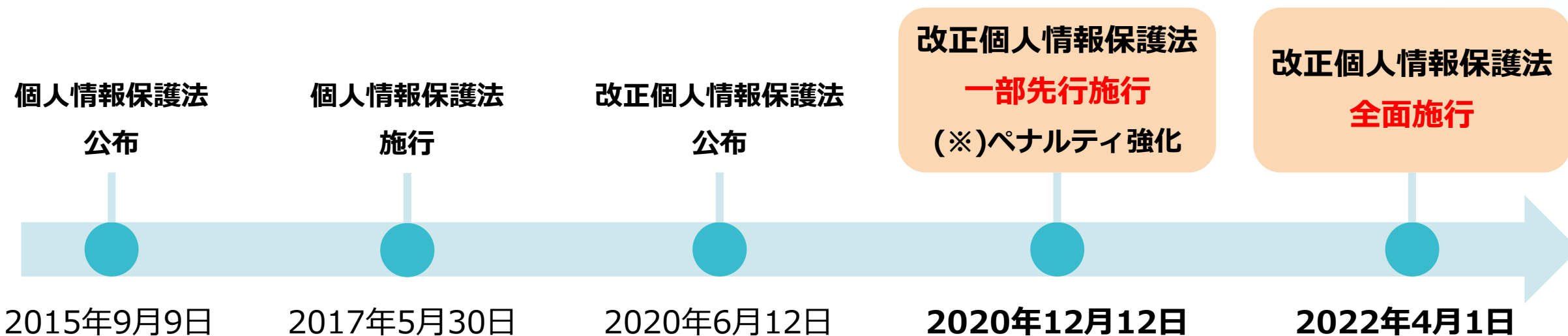
**4月1日には残りの法改正を含む全面施行となり、
特に情報の取り扱いに関する証跡管理は全事業者様が取り組むべき内容となります。**

**「個人情報を取り扱うPCは安全なのか」、
「誰が個人情報を利用しているのか分からない」、
「勝手に個人情報を外部へ持ち出されたらどうしよう」などの課題には、
クラウド製品「ISM CloudOne」でお応えすることが可能です。
本セミナーでは、今後皆様が直面するさまざまなご要望に対する
具体的な取り組みや対策についてお教えします。**

改正個人情報保護法とは・・・

公布日と施行日

2022年4月より、
個人情報保護法の改正版が適用されました



改正に至った背景

- 1.情報を提供する**個人の権利意識の高まり**に即した**個人の権利利益の保護**
- 2.現行法制定時に重視された**保護と利用のバランス**推進
- 3.個人情報へのグローバルな利用の増加を踏まえた国際的な制度調和・連携
- 4.個人情報を取扱う外国事業者に対する**リスクに対応する制度の見直し**
- 5.AI／ビッグデータ時代への対応

6つの改正点

1.本人の請求権の拡充等

2.事業者の義務・公表等事項の追加 **重要!**

3.新たな情報類型の創設（仮名加工情報・個人関連情報）

4.部門別の認定個人情報保護団体の制度化

5.ペナルティの強化 **重要!**  2020年12月12日より先行施行

6.外国事業者関係（域外適用・第三者提供時の情報提供等）

情報セキュリティの観点から見た
重要ポイントは2つです。
それぞれ解説致します。

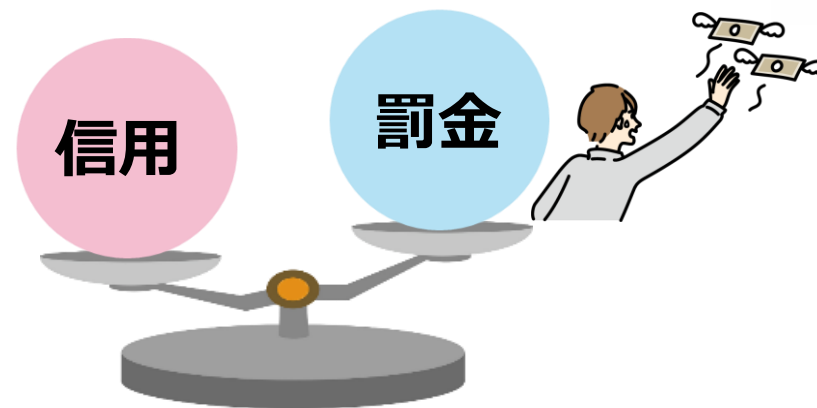


情報セキュリティの観点で見た重要な改正点

1.ペナルティの強化 ⚠️ 2020年12月12日より先行施行

→法人に対する**罰金刑が引き上げられました**

2017年	個人情報保護法
個人情報保護委員会 からの命令違反 への虚偽報告	30万円以下 30万円以下
↓	
2022年	改正個人情報保護法
個人情報保護委員会 からの命令違反 への虚偽報告	1億円以下 50万円以下



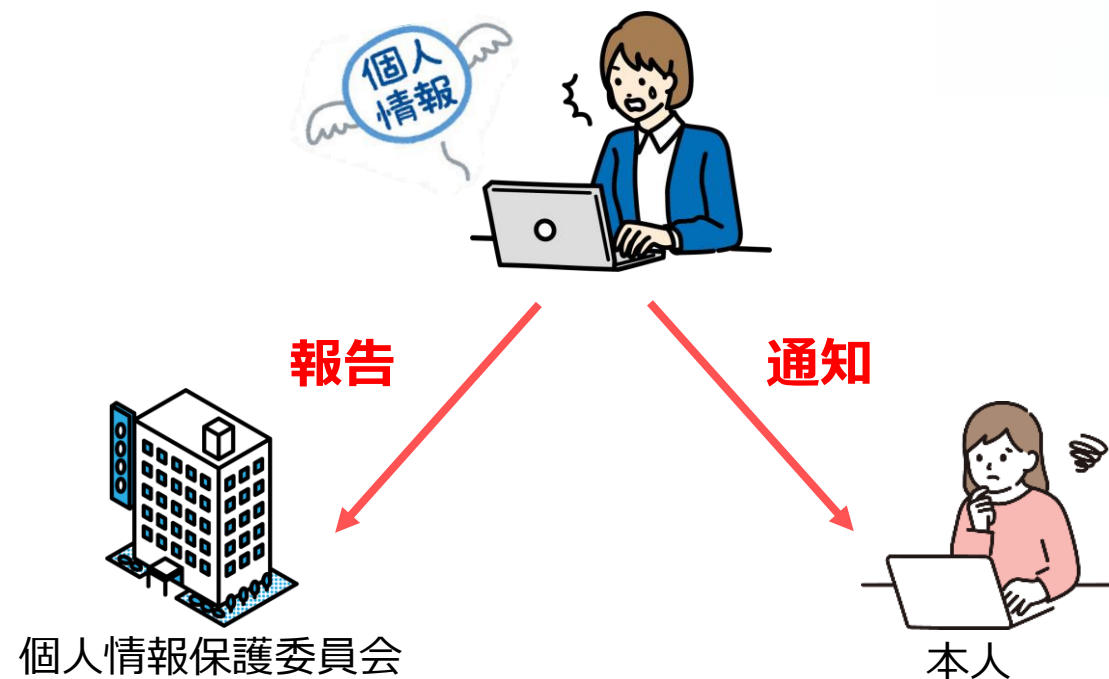
一度失った信用やブランドイメージは、一朝一夕では取り戻せません。

情報セキュリティの観点で見た重要な改正点

2.事業者の義務・公表等事項の追加

→ 情報漏洩時の報告が**義務化**されました

2017年	個人情報保護法
①情報漏洩時のトレーサビリティ ②個人情報保護委員会への報告（ 努力義務 ）	
↓	
2022年	改正個人情報保護法
①情報漏洩時のトレーサビリティ ②個人情報保護委員会への 報告義務 ③本人への 通知義務	



ISM CloudOneで解決 企業の取るべき対策

ISM CloudOneとは・・・

1 エンドポイントセキュリティ管理ツール

パソコンやスマートデバイスなどの端末に対して、
端末情報や操作履歴の取得、利用制御が可能です。



2 クラウド型 SaaS製品

インターネットに繋がる端末であれば、いつでもどこからでも管理できます。
VPN接続による回線負荷や、サーバー構築などのインフラ整備も不要です。

3 柔軟な利用が可能なサービス形態

IT資産管理機能を軸に、操作ログ取得や外部デバイス制御などのセキュリティ対策
機能をオプションとして別契約いただけます。
お客様の課題やニーズに合わせて、必要な時に必要な分だけをご契約できます。

企業の取るべき対策チェックリスト

- ☑ 社内外に関わらず、情報を取扱う端末を同等に管理できる
- ☑ 情報を取扱う端末の脆弱性対策ができています
- ☑ 漏洩時に流出経路や影響範囲を確認できる（トレーサビリティ）
- ☑ 情報の不正利用を未然に防ぐ措置ができています





企業の取るべき対策チェックリスト

☑ 社内外に関わらず、情報を取扱う端末を同等に管理できる

インターネットさえ繋がれば、社内・外出先・海外にある端末でも管理が可能です



クラウド製品のため、サーバーやVPN環境の構築といったインフラ整備がいらないため、初期コストを抑えつつすぐに運用頂けます。インターネット環境下にある端末をいつでもどこからでも管理できます。

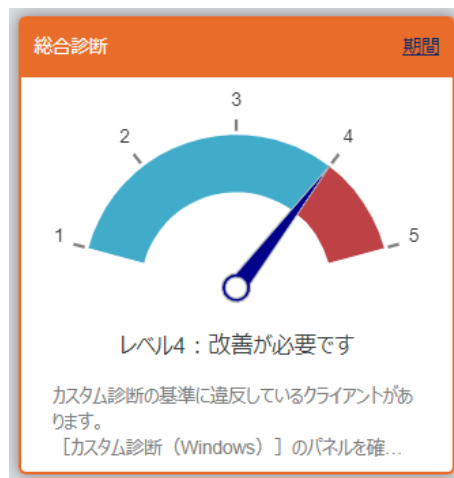
企業の取るべき対策チェックリスト



基本機能

☑ 情報を取扱う端末の脆弱性対策ができています

端末のセキュリティ状態を診断し、自動で診断結果が可視化します



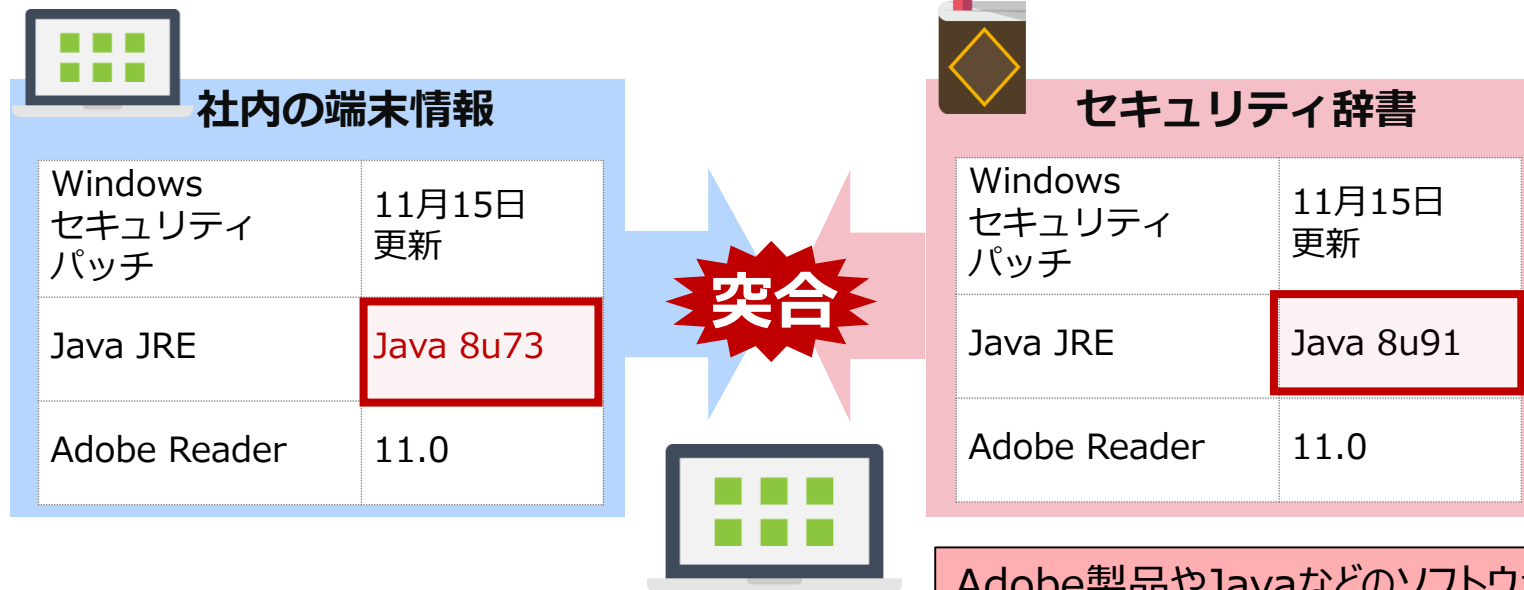
OS更新プログラムの適用状況や、ウイルス対策ソフトの利用状況などの情報をもとに、自動で今の対策レベルを総合的に診断します。その診断結果は、ログイン直後の画面で一目で確認できるため、結果をもとに脆弱性を潰し、セキュリティレベルを上げることが可能です。

企業の取るべき対策チェックリスト



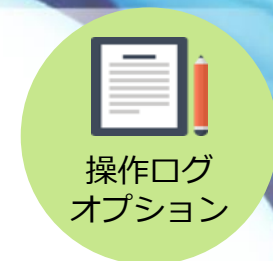
☑ 情報を取扱う端末の脆弱性対策ができています

毎日更新のセキュリティ辞書と照らし合わせ状態を可視化します



Adobe製品やJavaなどのソフトウェアバージョンのデータベースを、日々最新状態に更新し提供いたします。そのため、最新バージョンを調べる手間を省く事ができ、管理者様は脆弱性のある端末に対してスムーズに是正を行う事が可能です。

企業の取るべき対策チェックリスト



 漏洩時に流出経路や影響範囲を確認できる（トレースビリティ）

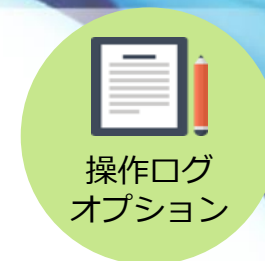
「いつ」「誰が」「どのような操作をしたのか」を追跡できます

ログ取得日時	グループ名	利用者名	操作種別	アラート種別	アラートデータ1
2021/10/07 16:12:45	営業1部	安藤 サブロー	外部デバイス挿入	未承認デバイス挿入	GH
2021/10/07 16:16:19	営業1部	安藤 サブロー	コピー	禁止ファイル操作	\\fileserver\share\【社外秘】テスト用 1 .txt
2021/10/07 16:16:28	営業1部	安藤 サブロー	ファイル名変更	禁止ファイル操作	C:\Users\Administrator\Desktop\【社外秘】テスト用 1 .txt
2021/10/07 16:16:37	営業1部	安藤 サブロー	書き出し	未承認デバイス書き出し	C:\Users\Administrator\Desktop\なんでもないファイル.txt

時系列に沿って、誰がどのような操作を行っていたのかを確認できます。

- 1.会社で使用を認めていない外部デバイスが挿入された
- 2.ファイル名を変更し（社外秘⇒なんでもないファイル）
- 3.外部デバイスに書き出した

企業の取るべき対策チェックリスト



☒ 漏洩時に流出経路や影響範囲を確認できる（トレーサビリティ）

「いつ」「誰が」「どの様な操作をしたのか」を追跡できます



様々な種類のログを取得できるため
情報が悪用されてしまう事を未然に防いだり、
有事の際はログによる追跡が可能です。



動作	緊急	警告	注意
即時アラートメール送信	☒ 送信する	☐ 送信する	☐ 送信する
ユーザーへの通知	☒ 通知する	☒ 通知する	☐ 通知する
スクリーンショット取得	☒ 取得する	☒ 取得する	☒ 取得する

情報漏洩の可能性がある行為に対して
アラートレベルを『緊急／警告／注意』の
3段階に分けて表示できます。
また、アラートレベルに対してアラート発生時の
アクションをそれぞれ設定できるため、危険行為が
行われたタイミングで管理者へ通知を出し、
すぐに対処する事も可能です。

企業の取るべき対策チェックリスト



✓ 個人情報を含むファイルの存在を把握できる

 ISM LogAnalytics

※次期リリース予定の新製品

「ISM LogAnalytics」の機能です

端末に保存されている「個人情報」を洗い出せます

コンピュータ...	取得日時	ログオン...	利用者名	ファイル名	フォルダーパス	ポイント
DESKTOP-4...	2022/01/21...	ladmin	雑賀誠	xxx契約情報.txt	C:\Users\ladmin\...	224
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	20220124_契約リ...	C:\Users\admin\D...	120
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	個人情報_01.pdf	C:\Users\admin\D...	126
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	個人情報_0121 - ...	C:\Users\admin\D...	120
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	個人情報_0121.txt	C:\Users\admin\D...	120
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	個人情報サンプ...	C:\Users\admin\D...	120
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	取引先名簿2.txt	C:\Users\admin\D...	125
DESKTOP-N...	2022/01/21...	admin	菅原千歳	取引先名簿_1121 ...	C:\Users\admin\D...	126
DESKTOP-Q...	2022/01/21...	m.mai	松本若菜	取引先情報.txt	C:\Users\m.mai\D...	300
DESKTOP-Q...	2022/01/21...	m.mai	松本若菜	個人情報サンプ...	C:\Users\m.mai\D...	128
DESKTOP-Q...	2022/01/21...	m.mai	松本若菜	個人情報サンプ...	C:\Users\m.mai\D...	128

ファイル操作履歴だけでは本当に確認すべきリスクのある行動を把握することは困難です。
「1つのファイルの中にいくつ個人情報が含まれていたか」、
「個人情報を含むファイルにアクセスする回数が多い人は誰か」、
そういった状況を明らかにし、一步踏み込んだ管理が可能です。

✓ 個人情報が含まれるファイルかどうか判定する

100

ポイント以上含まれる場合、個人情報と判定する

1つのファイルにどの程度の個人情報が含まれているかをポイント化し、
閾値を用いて判定できます。
個人情報判定されたファイルが操作された際のアラート通知も可能です。

✓ 個人情報を含むファイルが操作されたときにアラート通知する

重要度

高

✓ ユーザーに通知する

企業の取るべき対策チェックリスト



☑ 情報の不正利用を未然に防ぐ措置ができている

情報を持ち出すリスクがある媒体の利用を細かく制御できます

CD/DVD/BDドライブ 	☐ 許可	☐ 読み取り専用	☒ 禁止
承認済み外部デバイス 	☒ 許可	☐ 読み取り専用	☐ 禁止
ポータブルデバイス 	☐ 許可	☐ 読み取り専用	☒ 禁止
iTunesでの接続 	☐ 許可		☒ 禁止
その他の外部デバイス 	☐ 許可	☐ 読み取り専用	☒ 禁止

外部デバイスの利用をそれぞれ3段階のレベルに分けて制限をかける事ができます。

1. 許可 書き込みを認める
2. 読み取り専用 読み取りのみ認める
3. 禁止 書き込み／読み取りの両方を禁止する

シリアル番号	ベンダー名	製品名
0022CFF6BD70C3113B148904	TOSHIBA	TransMemory

会社所有の外部デバイス以外は利用させたくない時に（私物USBメモリは使用不可など）予め会社で利用できる外部デバイスを設定しておくことで、それ以外の外部デバイスが挿入された際に利用を制限する事ができます。



企業の取るべき対策チェックリスト



☒ 情報の不正利用を未然に防ぐ措置ができている

ワークフローを含めた管理が可能です

状態

申請日時

ハードウェア名

ログインユーザー名

使用残日数

使用終了日

承認待ち

2021/11/01 07:27:29

BITLOCKMAN

USER01

22

2021/11/30

無効

2021/10/01 16:20:28

WIN10-DE

外部デバイス使用申請詳細

状態：承認待ち

無効

2021/10/27 11:34:06

DEMO10-I

承認する

却下する

却下理由を入力してください

申請日時

2021/11/01 07:27:29

使用終了日

2021/11/30

制御種別

使用許可

ハードウェア名

BITLOCKMAN

ログインユーザー名

USER01

申請結果通知メールアドレス

ドライブ名

D:

ドライブ種別

CD/DVD/BDドライブ

承認済み外部デバイス

未登録

ベンダー名

NECVMWar

製品名

VMware SATA CD01

ウイルス対策

データ暗号化

概要説明

判定方法

デバイス情報

承認KEY

会社で一切外部デバイスの使用を認めていない場合でも、取引先との情報受け渡しにUSBメモリが使用されることもあります。

一時的に使用を許可させたい時には、ユーザーごとに利用申請をあげ、管理者で使用を許可するワークフローを含めた管理が可能です。

企業の取るべき対策チェックリスト【解決策】

☒ 社内外に関わらず、情報を取扱う端末を同等に管理できる

クラウド製品のため、インターネットに繋がる端末であれば
いつでも・どこからでも管理が可能です

☒ 情報を取扱う端末の脆弱性対策ができています

OS更新プログラムの適用状況や、ウイルス対策ソフトの利用状況をもとに、
現在の対策レベルを自動で診断。脆弱性がある部分だけ是正対策が可能です。

☒ 漏洩時に流出経路や影響範囲を確認できる（トレーサビリティ）

ファイル操作や外部デバイスの接続履歴を把握できます。

☒ 情報の不正利用を未然に防ぐ措置ができています

情報の不正持ち出しのリスクと成り得る外部デバイスの使用を制御できます。

その他

- ・ 機能一覧
- ・ トライアルのポイント
- ・ 動作環境
- ・ トライアルお申し込み
- ・ お問い合わせ

機能一覧 (Windows/Mac)

カテゴリ	主な機能	Windows	Mac	備考
PCライセンス (標準機能)	自動脆弱性診断	○	×	
	PC制御	○	×	
	・ソフトウェア自動更新	○	×	
	・禁止ソフトウェア起動制御	○	×	
	各種IT資産情報	○	○	
	・ハードウェア一覧	○	○	
	・ソフトウェア一覧	○	○	
	ソフトウェアライセンス管理	○	○	
	ファイル・ソフトウェア配布 (社内LAN)	○	×	
	リモートコントロール (社内LAN)	○	×	
	Windows10管理 運用支援	○	-	
	BitLocker管理・制御機能	○	-	Windows 10 Proエディション以上に対応
	リモートロック、指定フォルダの削除	○	×	Windows 8.1もしくは10、かつProエディション以上に対応
ログ機能オプション	操作ログ取得	○	○	
ISM WP(外部メディア制御)オプション	外部デバイス制御・通信デバイス制御	○	○	Mac : 通信デバイス(Bluetooth/Wifi) 制御は非対応
URL Filteringオプション	URLフィルタリング	○	×	
ふるまい検知オプション	ふるまい検知	○	×	
インターネットリモコン機能オプション	リモートコントロール (インターネット経由)	○	×	
クラウド配布オプション (QualitySoft SecureStorage)	ファイル・ソフトウェア配布 (インターネット経由)	○	×	
Windows10アップデート支援オプション	Windows10 FU/QUパッチの分散配布	○	-	社内ネットワーク環境のみ・別途専用のアプライアンス必要

こちらが本資料でのご提案機能です。



トライアルのポイント

1. PC1台からお試し可能で、設定も簡単

→インターネットに接続可能なPCが1台あれば、
簡単にお試し頂けます



2. 個人情報を取り扱う端末のセキュリティレベルを即診断可能

→トライアル版においても各端末の脆弱性を診断頂けます

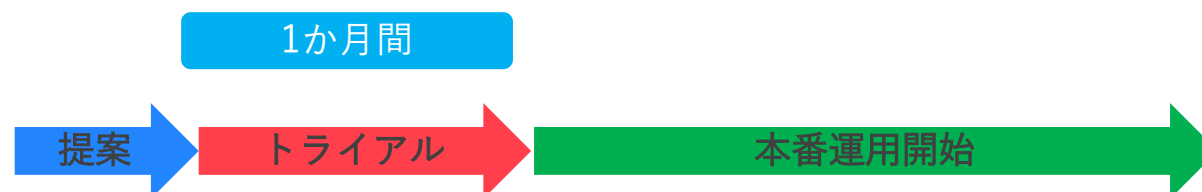


トライアルのポイント

3. 実際のログデータでどのような資料が使われているか確認可能
→ CSV出力も可能な為、トライアル期間終了後も閲覧頂けます

ログ取得日時	グループ名	利用者名	操作種別	アラート種別	アラートデータ1
2021/12/08 16:03:17	営業部	梅澤 トシロー	移動	× 禁止ファイル操作	C:\Users\Administrator\Desktop\機密情報.txt
2021/12/08 16:03:45	営業部	梅澤 トシロー	ドキュメントアクセス	× 禁止ドキュメントアクセス	C:\Users\Administrator\Downloads\機密情報.txt
2021/12/08 16:07:53	営業部	梅澤 トシロー	ドキュメントアクセス	× 禁止ドキュメントアクセス	C:\Users\Administrator\Downloads\機密情報.txt

4. トライアル期間に取得したログデータや設定情報は引継可能
→ 本番環境への引継もスムーズに行えます



トライアル お申し込み

実際に貴社でご使用されているクライアントPCにインストールして30日間無料でご検証頂けます。最短即日～最大3営業日以内にアカウントをご用意いたします。

https://ismcloudone.com/trial_form/

お申し込み	ID／パスワード発行	トライアル開始	管理端末に展開
お申し込みサイトよりお申し込みください。基本機能に加えて使ってみたい機能はオプションで選択してください。	最短で数分後、最長でも3営業日以内に企業コード／ID／パスワードをメールにてご連絡いたします。	発行された企業コード／ID／パスワードで管理画面よりログオンし、エージェントをダウンロードしてください。	管理対象の端末にエージェントをインストールいただければ、ご利用可能です。

お問い合わせ

機能や運用に関するご相談、デモンストレーションのご依頼などご相談ください。

<https://ismcloudone.com/inquiry/>

